

ほけん祭り3月

2023年3月号
あおぞら保育園

寒さが和らぎ、温かく感じる日が増えたと同時に花粉の飛散が始まり、花粉症には辛い季節がやってきました。4月からは、つき組さんはいよいよ小学生ですね。残りの保育園での生活を存分に楽しんでほしいと思います。他のクラスのお子さんもお進級にドキドキ・ワクワクと胸を膨らませていることでしょう。この1年で体が大きくなっただけでなく、誰かを思いやる心や困っている人がいたら助ける心も大きく成長したと思います。自信を持って新しい環境でも頑張ってください。

1年間、保護者の皆様には、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

2月の感染症

感染性胃腸炎・・・2名
インフルエンザ A型・・・2名

先月に比べて、感染性胃腸炎は落ち着いてきています。今月は新たにインフルエンザ A 型の発症がありました。

園内の感染症情報は、2カ所でお知らせしています。①登園時はアルコール消毒付近②18:00以降は事務所前です。ご確認ください。

3月の保健行事

6日～10日 身体測定
14日(火) 0歳児健診
14:30～



花粉症のお子さんが例年増加傾向です。

眼の充血や痒みや痛み、くしゃみが止まらない、透明な鼻水などの症状が続く場合は花粉症の可能性がります。一度、耳鼻科を受診しましょう。保育園は点眼薬を含め、薬のお預かりはできませんので登園前の点眼やマスクの装着、薬の服用など花粉対策をお願いします。

アレルギー性鼻炎（通年性・季節性）で保育園で特別な管理が必要なお子さんは、下記の「新年度の保健に関する書類について」をご参照ください。

卒園おめでとございます

この時期の年長さんは、就学を間近に控え、楽しさと不安が入り混じった複雑な思いを持つようになります。遊び中心から勉強中心の学校へ・・・自分自身で通学したり、時間通りに教室を移動したり・・・自立した行動が増えます。環境の変化に伴い、急に大人に甘えたり、逆にイライラして怒りっぽくなったり、気持ちのコントロールが一時的に難しくなります。「何かいつもと様子が違うな？」と感じたら、お子さんのサインを見逃さないようにしっかりと受け止めてあげてください。肯定的な言葉かけ、共感、ハグなどが効果的です。保護者の方の温かいサポートによって、また一つ「小学校」という少し大きな集団の中に安心して入っていくことができます。そして、社会性を学び一歩ずつ大人へ向かって成長していきます。環境の変化に馴染めるように、まずは基盤となる生活習慣を整え、4月からはリラックスした気持ちで元気に登校してほしいです。がんばれ新一年生！！応援しています。

【新年度の保健に関する書類について（該当する方のみ）】

①厚生労働省「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に基づいて「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」が必要なお子さんは書類の提出をお願いいたします。4疾患（気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アトピー性皮膚炎）を対象とし、保育園で特別な管理が必要なお子さんに限って、保護者の依頼を受けて医師が記入するものです。必要なお家庭は、看護師までご相談ください。また、置き薬をしているご家庭は3月中旬に一旦返却いたします。再受診をしていただき、継続して薬の預かりが必要な場合は指定の用紙をお渡しますので、医師に記入をお願いしてください。

②食物アレルギーのお子さんについて

今年度も継続して除去が必要な場合は、医師が記入する「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」をご提出下さい。食事除去内容の確認を行うために、担任・栄養士・看護師と面談を実施させていただきます。継続書類は、個別でお渡ししています。受診の結果、除去が不要であった場合は、保護者が記入する「除去解除申請書」をご提出ください。

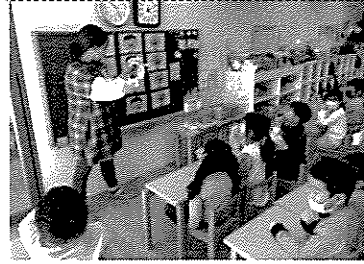
③抗痙攣薬のお預かりについて

痙攣止めの薬をお預かりする場合は、医師による指示書が必要です。指定の用紙がありますので詳しくは看護師までご相談ください。

①～③の締め切り日 3月24日(金)

★つき★ 2/9

歯の働きは、食べ物を噛む他に「発音」「脳へ刺激を与える」「体の姿勢やバランスを保つ」などがあります。



口の中には、何があるかな？
「歯・舌・つば」など答えが返ってきました。「赤ちゃんは、ミルクやドロドロのご飯を食べる」「歯はお話するときに必要なよ」と教えてくれたり、「舌はどんな仕事をするんだろう」と考えている子もいました。舌には味を感じる「味蕾（みらい）」があります。今回は、「甘い・すっぱい・しょっぱい」を感じてもらうよう味クイズと虫歯になりやすい食べ物のクイズをやりました。

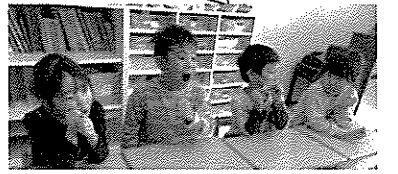
お当番さんに歯水が入っている好きなコップを一つ選んでもらいました。「砂糖水・酢水・塩水・水」ですよ。味がわかるかな？

唾液の働きは、食べやすくするだけではなく、口から入ってくる細菌などから体を守る働きがあります。口の中の食べカスを洗い流したり、虫歯や口臭を防ぎます。

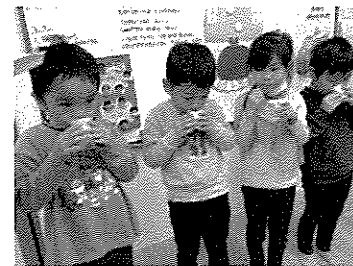
6歳になると第一大臼歯が、生え始める頃です。奥歯は虫歯になりやすいので、しっかり磨きましょう。



感染防止のため、歯ブラシを使用できませんでしたが、「エア磨き」で練習しました。

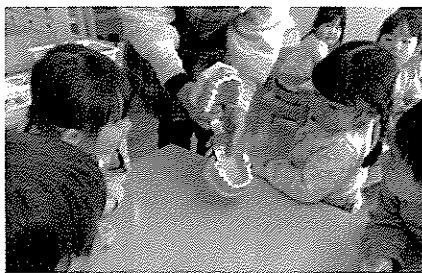


★はな★ 2/13



虫歯になるもの・なりにくいものを〇×クイズにしました。「チョコレートやグミは、砂糖が入っているから虫歯になりやすい」の問題は大正解。でも「バナナは？」に考え込む子どもたち。「砂糖はバナナに入っていないけど、甘いな〜」と。なるほど。よく考えていますね。

★ことり★ 2/20



歯と歯の間や奥歯に食べ物が詰まったり、黒くなっている歯もあります。虫歯になった歯の模型を見て、驚いています。

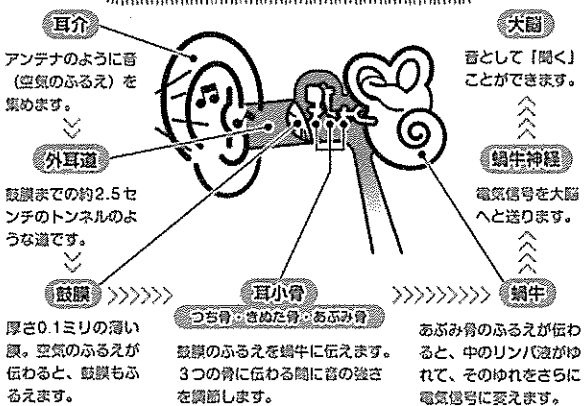


歯ブラシの正しい持ち方をみんなで確認しました。親指をストッパーにのせてね。



「自分の体は、自分で守る」
今のうちから伝えていきたいですね。

音を「聞く」までの道筋は？



舌で感じて伝える「味クイズ」は、それぞれの味を敏感に感じる子、甘い砂糖水がわからなかった子もいました。添加物が多い食品やジャンクフードを食べる機会が増加。濃い味やわかりやすい味にしかおいしさを感じられなくなってしまい、味覚が鈍ってしまう子どもたちが近年増えています。食生活や歯磨きも大人が健康的に過ごせるように気をつけてあげましょう。